

マストヘッド型SLAシリーズ

資 材 リ フ ト

# 操作マニュアル



## 警告

マシンを使用する前に、ユーザー マニュアルの関連する規則と要件をよくお読みください。  
操作規則に違反した場合、オペレータはすべての結果に対して責任を負います。

---

マシンを受け取ったら、関連する警告ラベルを確認してください。  
問題がある場合は、販売店へお問い合わせください。

# 注意事項

リフトの操作は、高度な訓練を受けた担当者のみが行ってください。

また、リフトを使用する前に、操作者は操作マニュアルをよく読み、安全仕様およびすべての操作指示を熟知していなければなりません。このマニュアルはリフトの重要な構成部品であり、オペレータが容易に手に取れる場所に保管してください。

## 目次

安全に関わる注意事項 .....	2
動作前検査 .....	7
機能試運転 .....	8
使用現場確認 .....	9
取扱説明 .....	9
輸送時の注意事項 .....	11

免責事項：本書の作成にあたり、本機を操作する際に起こりうるあらゆる危険性を考慮しましたが、実際の使用環境による危険性を予測することはできませんので、現場環境では常識的な安全性を守る必要があります。また、本マニュアルに記載された誤りやその他記載漏れによって生じた事故や怪我については、当社は責任を負いかねます。

# 安全に関わる注意事項

## ご注意ください！

本書の安全注意事項に違反した場合、または何らかの理由で無視した場合、操作者の生命を脅かすか、または重大な人身事故を引き起こすことがあります。

リフトを運転する前に、次の事項を厳守または完了してください。

- a) この操作マニュアルをよく読み、安全に関する注意事項や操作手順の一部を熟知してください。
- b) リフト構成部品を確認し、良好な状態であることを確認してください。
- c) リフトの完全かつ包括的な機能試運転を行ってください。
- d) 作業時間を注意深く検査し、考えられるすべての危険を特定し、考えられるすべての安全問題を含んだ適切な作業計画およびリスク評価を適用してください。
- e) 本サイトの利用に際して、関連する安全規則等を遵守してください。
- f) 使用場所の安全に関する法律や規制を遵守してください。
- g) リフトは、指定された目的以外には使用しないでください。

## 落下の危険性

リフトを人の運搬台として使用することは禁止されています。

リフトの荷重を受けるアタッチメントの上に立つことは禁止されています。

リフトのマストへの登攀は禁止されています。

## 転倒の危険性

作業場の床を注意深くチェックし、不揃いの高さやその他の破片がないか、滑りやすい、不安定な表面やその他の条件によってリフトが転倒する可能性がないかを確認してください。

安全を確保するために、昇降の前にリフトが堅固で水平な表面に置かれていることを確認することが重要です。

1. リフトを水平にするために、木のブロックなどを使用することは禁止されています。



スタビライザー（装備されている場合）とフォークレッグは、リフトの安定性を確保するために、リフトを操作する前にできるだけ低くし、すべてのローラーとステアリングホイールは地面に完全に接触していなければなりません。

また、ストップピンは正しく挿入され、フロントフォークの脚とベースを通過していなければならず、リフトの運転中に決して取り外さないでください。

リフト作業中は、簡単な微調整を行う場合を除き、絶対にリフトを動かさないでください。リフト作業を行う前に、ロードキャリングアタッチメントがリフトフォークおよびキャリッジにしっかりと取り付けられていることを確認してください。

荷物がキャリングアタッチメントの中心に正しく置かれていることを確認するまでは、リフトを持ち上げないでください。

荷物がロードアタッチメントに安全にセットされていることを確認するまでは、絶対にリフトを操作しないでください。

2. リフト作動中に、リフトの下に立ったり、他人にリフトのロード・アタッチメントの下を歩かせたりしないでください。安全ブレーキシステム（装着されている場合）は、マストをロックする前に、1～3フィートの距離でロードアタッチメントの下降を制御します。



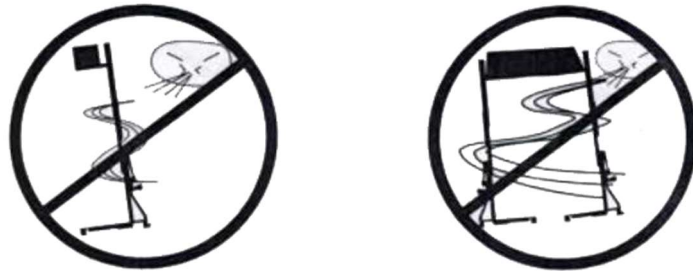
作業現場（安全な距離を含む）を確認し、障害物や人などがいないことを確認せずに、リフトを直接操作して荷物の持ち上げや着地を行うことは禁止されています。

折りたたみ式フレームアタッチメントに手や指を近づけず、リフトの他の部分を挟み込む可能性があることに注意してください。

ロックプレートを外すときは、スタビライザーが路面を滑らないように、しっかりと固定してください。

フロントフォークレグからストップピンを外したら、フォークレグが道路から落ちて破損するのを防ぐため、しっかりと持ち上げてください。

ブレーキが完全にロックされるまでは、ウインチのハンドルが回らないようにしっかりと持ってください。吊り上げ作業中にブレーキが完全にロックされると、ウインチのハンドルが回らなくなります。

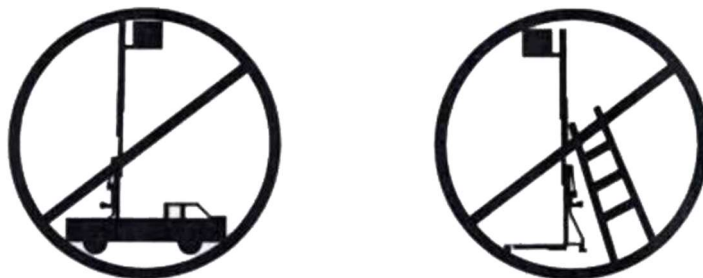


風が強いときは、物品を吊り上げる際に風の影響を受ける面積が大きくなり不安定になるため、リフトは使用しないでください。

上記と同様の状況にある場合、風力の変化による事故を避けるため、リフトを吊り上げたままの状態にしないでください。やむを得ずリフトを持ち上げる場合は、リフトに風防を取り付け、転倒を防止してください。

荷重の増減や伸ばした荷物の吊り下げは、水平方向の横引きが発生し、リフトが転倒する恐れがありますので、側面への荷重は厳禁とします。

リフトの一部に梯子や足場などを近づけないでください。



リフトを揺れや振動のある場所や、車両の上で使用しないでください。

リフトの定格荷重を超える使用は禁止されています。正確な荷重範囲については、本マニュアルの耐荷重データシートを参照してください。

リフトを移動する際は、振動や転倒を避けるため、凹凸のある地面やゴミの多い地面を避けてください。

リフトの部品を交換する場合、リフトの性能や安全性に影響を与えないように、リフトと互換性のない部品は交換しないでください。

## リフトの昇降

リフトに荷物を載せたり持ち上げたりするときは、正しい持ち上げ方と正しい手順で行ってください。荷重のかかる付属品を組み立てたり、取り外したりする場合は、正しい持ち上げ方と手順に注意してください。

## 感電の危険

リフトはいかなる絶縁や保護もされていないので、感電を避けるため、運転中は電源に接続しないでください。

リフトを電気ケーブルの近くで使用しないでください。どうしても使用したい場合は、リフトを動かしたり触ったりする前に電気ケーブルを外してください。



電線や他の電気製品から一定の距離を置いてください。地方自治体が発行する関連法規を遵守するとともに、下表の安全距離を考慮してください。

電圧	最小安全接近距離	
	フィート	メートル
相間電圧		
0-300V	非接触で十分です	非接触で十分です
300V-50KV	10	3.1
50KV-200KV	15	4.6
200KV-350KV	20	6.1
350KV-500KV	25	7.6
500KV-750KV	35	10.7
750KV-1000KV	45	13.7

安全距離を計算する際には、リフトマストの高さ、電源ケーブルの揺れ、たるみの長さを考慮することが重要です。また、強風時に電源ケーブルが激しく揺れることによる感電のリスクを回避するために、さらに距離を取る必要があります。

リフトを他の部品を溶接するための台として使用することは禁止されています。

### 人身事故について

使用中は、電源を切った状態でも、帯電している可能性のある電源ケーブルに触れたり、握ったりしないように注意してください。

### 衝突の危険性

リフトを使用する前に、職場全体に空中障害物やその他の危険の可能性がないか確認してください。特に、クレーンなどの移動可能な危険物の可能性があります。

事故防止のため、他の人や障害物がないことを確認せずにリフトを後方に傾けることはしないでください。



傾斜面を移動することは大変危険ですので、リフトを移動する際には、転倒しないように充分注意してください。

リフトと輸送車両が平らな場所でない限り、輸送作業のためにリフトを輸送車両に載せてはいけません。また、リフトを持ち上げる際には、正しい手順で操作してください。

### 部品の機械的な故障や損傷

故障していたり、損傷の兆候がある場合は、絶対にリフトを使用しないでください。

機械の摩耗がひどく、ロープがねじれたり切れたりしている場合は、リフトの使用を禁止します。キャリッジを最下降させたとき、ウインチリールに4本のロープがない場合は、リフトを使用しないでください。

リフト全体の総合的な事前テストが実施され、すべてが適切な状態であることが確認されるまでは、リフトを使用しないでください。

ウインチは常に潤滑された状態を保っていますが、潤滑油がブレーキ面に落ちないようにしてください。

マストの外周面には、いかなる種類の潤滑油やグリースも添加しないでください。

## 関係者以外が操作する危険性

リフトに負荷がかかっているときは、訓練を受けていない人等が誤ってリフトを操作しないように、リフトを放置しないようにしてください。

# 動作前検査

## 基本原則

事前点検とは、各運転の前に操作者がリフトを総合的に目視点検し、明らかな損傷箇所がないことを確認し、その後の機能試運転をスムーズに進めるための作業です。

事前点検の際には、明らかな修理や損傷の兆候の有無に特に注意し、さらにスペアパーツの有無を確認してください。

また、専門技術者による検査で破損や部品の欠落があった場合は、その後の機能試運転をスムーズに進めるために、プレテストを継続します。

以下のことが完全に実行または完了されていない限り、リフトの使用の運用は厳禁です。

- 1) 使用する前に、操作マニュアルを読み、安全上の注意と操作の原則をよく理解する。
- 2) 使用前に事前点検を行い、すべての部品が正常であることを確認する。
- 3) リフトの完全統合機能試運転が実施されている。
- 4) 作業現場は入念に調査され、考えられるすべての危険性が特定され、考えられるすべての安全問題を説明するために適切な作業指示書と危険性の評価が作成されている。



- 5) 作業を行う地方自治体の関連法令を遵守する。
- 6) リフトを、指定された適用範囲以外では使用しない事。

## 機能試運転

### 基本的な概要

機能試運転の主な目的は、リフトを使用する前に、その機能が正常な状態であることを確認することです。操作者は、資材リフトのすべての機能を段階的に試運転し、正常な使用を確認することを要求されています。

試運転中に不具合が発生した場合は、直ちにリフトから離れ、故障マークを付けて交換・修理を行います。

専門技術者がメーカーの製造基準や操作マニュアルに従って修理を行った後、機能試運転を行い、リフトの使用開始の可否を確認します。

以下の各項目を実施または完了しない限り、本リフトを使用することは厳禁です。

- 1) この操作マニュアルをよく読み、そこに含まれる安全上の注意と操作の原則を熟知している。
- 2) リフトは使用前に事前点検を行い、すべての部品が良好な状態であることを確認している。
- 3) リフトの完全な包括的機能試運転が実施されている。
- 4) 作業現場は入念に調査され、考えられるすべての危険性が特定され、考えられるすべての安全問題を説明するために適切な作業指示書と危険性の評価が作成されている。
- 5) 作業を行う地方自治体の関連法令を遵守している。
- 6) リフトを、定められた適用範囲外で使用しない。
- 7) フォークレグストップを外し、ゆっくりと下限位置まで下ろし、ストップを元に戻してベース全体を貫通させている。
- 8) フォークをスライディングフレームに固定する。
- 9) ストップピンを挿入する。

# 使用現場確認

## 基本的な概要

リフトを作業現場に運ぶ前に、作業現場がリフトの安全な運用に必要な条件を満たしていることを確認するため、厳密な検査を行ってください。

次のような環境でのリフトの使用は避けてください。

- 1) 明らかに一般的に危険な環境。
- 2) 穴やゴミのあり、凹凸のある路面、不安定な路面、その他類似の状態は、危険な事故につながる可能性があります。
- 3) 空中に障害物、特に高電圧や送電線などが存在する環境。
- 4) 風が強いなど、悪天候の場合。使用前に現地の天気予報情報に従って、起こりうる天候の危険性を判断することが望ましいです。
- 5) その他、安全でない可能性のある状況。

## 取扱説明

### 基本的な概要

本リフトは、主として物品を昇降させるための道具として使用するものであり、それ以外の目的で使用することは、事故につながる恐れがあるため、固く禁じられています。

リフトが同じ日の異なるシフト中に異なる操作者によって操作された場合、操作者は次のシフトの前に新しいプレテスト、機能試運転、職場点検を実施しなければならず、前の操作者のテスト結果や自身の以前のテスト結果のみを参照してはなりません。事故を避けるため、リフトを荷役に使用する前に、前の操作者の理由やリフトが休止していた時間帯に関係なく、上記3つのテストをすべて再度実施する必要があります。

リフトを運転する前に、次の事項を厳守または完了してください。

- a) この操作マニュアルをよく読み、安全に関する注意事項や操作方法の一部を理解する。
- b) すべてのリフト部品を確認し、良好な状態であることを確認する。
- c) リフトの完全な包括的機能試運転を行う。
- d) 職場は入念に点検され、考えられるすべての危険を特定され、適切な業務計画と危険性の評価が使用されている事。
- e) 利用にあたって、関連する安全規則を遵守する事。
- f) 使用場所の安全に関する法律や規制を遵守する事。
- g) リフトを、指定された目的以外には使用しない事。

## 機能設定

リフトの機能を設定する場所は、機能のスムーズな設定を妨げないように、ゴミのないしっかりとした水平な場所で行ってください。機能は、機能設定指示書やプロトコルに沿って厳密に設定してください。

## 荷物の昇降

- a) 荷物はロードキャリアの中央に置き、本書の耐荷重表の項を参考に積載してください。
- b) 荷物がロードキャリアにしっかりと固定されていることを確認してください。
- c) ウインチに対して内側に回すと荷物が持ち上がります。なお、荷物の吊り上げに不適合なワイヤーロープを使用することは禁止されています。



- d) ウインチハンドルを外側に回して荷重を下げ、キャリッジが一定の位置に来たら、ウインチハンドルを1/4回転内側に回してブレーキの機能を確認します。

## 荷台付き移動式リフト

特に、荷物が乗っているときにリフトを動かすことは禁止されています。

また、以下の事項を優先する必要があります。

- 1) 床の水平度、ゴミの残骸の有無。
- 2) 着荷する貨物がロードキャリアのちょうど真ん中に位置するようにする事。
- 3) 昇降する荷物がロードキャリアにしっかりと固定されている事。
- 4) 急な離着陸や激しい揺れは避ける事。
- 5) 工事現場周辺に他の無人者がいないことを確認する事。
- 6) リフトやリフトされる荷物に、他の人が近づかないようにする事。

## 使用後の保管について

使用後に本機を保管する場合は、本書の機能試運転の項にある保管方法の項を参照し、保管操作を行ってください。

リフトを良好な状態で使用するためには、過酷な環境を避け、衝突の危険性がない、安全で確実な保管場所を選択する必要があります。

## 重要な注意事項

正しく負荷がかからないと、人身事故や生命に危険を及ぼす可能性があります。

リフトの耐荷重を超えて荷物を持ち上げると、人身事故や人命にかかわるような事態を招く恐れがあります。

荷物がロードキャリアに確実に固定されていない場合、人身事故や生命に危険が及ぶ可能性があります。

ロードセンターとは、ロードアタッチメントのバランスポイント（重心）を意味し、転倒を防ぐためには、ロードの重心に荷物を置く必要があります。

- a) ロードキャリングアタッチメントがフォークにしっかりと固定されていることを確認してください。
- b) ワイヤロープがカンチレバーのフックとループにしっかりと固定されていることを確認してください。

## 輸送時の注意事項

リフトで作業をする前に、以下のことを確認してください。

- 1) リフトを運搬している車両が安全かつ円滑に停止していること。
- 2) 車両のブレーキは、車両の後方への転倒や荷物の前方への転倒を防ぐために、良好な状態であること。
- 3) 銘板に記載されているリフトの重量データを参照し、輸送車の積載面およびチェーンがリフトを持ち上げるのに十分であることを確認すること。
- 4) リフトが、安全に輸送するために、チェーンやストラップ等で輸送車両にしっかりと固定されていること。

## リフトの積み込み

リフトから荷役用アタッチメントを取り外し、スタビライザーを保管場所に置いてください。

- a) キャリッジが最下位まで下がり、ロックされていることを確認してください。
- b) キャリッジの固定アームがキャリッジの上に回ったことを確認してください。
- c) リフトのキャリッジを少し持ち上げて、キャリッジ固定アームに完全に接触させるようにしてください。
- d) ロードホイールを適切な位置に調整し、ストップピンが正しく挿入されていることを確認してください。
- e) 歩行用車輪をリアベースにロックしてください。

## クレーンを使ってリフトを持ち上げる

- a) フォークレグとスタビライザーが収納位置にあることを確認してください。
- b) リフトが点検され、緩みや危険な箇所がないことを確認してください。
- c) リフトアップする場合は、マスト上部のハンガーを使って行ってください。
- d) リフトを持ち上げる前に、リフティングフックがブームに完全に通されていることを確認してください。

製造者は改良のため製品を変更する権利を有しますが、事前にお客様に通知することはありません。